

# 季刊 **みんな仲間** NO.168



< 城陽障害児者生活労働センター「うおーく」 >  
〒610-0121  
城陽市寺田垣内後69-1  
TEL 0774-55-5583  
メールアドレス [mnakama@khaki.plala.or.jp](mailto:mnakama@khaki.plala.or.jp)

< 下大谷施設 >  
〒610-0102  
城陽市久世下大谷6-291  
TEL 0774-56-0073

## — 地域の方々と温かい繋がりを築く —

新年あけましておめでとうございます。地域の方々には、「福祉ふれあいまつり」「心身障がい児者スポーツ大会」等の城陽市内のイベントや、日中の取り組みで出会ったとき、みんななかまの通所者に心温かいご声援を送っていただいています。そして、法人事業に絶大なるご協力をいただいていることに、大変感謝しております。この場をおかりして、御礼申し上げます。地域の方々には今回のおたよりで二つお話しさせていただきます。

一つ目は、この数年、法人事業の課題となっています。都市計画道路整備事業の寺田深谷塚本道路工事についてのご報告です。現在、この事業に関わる市との交渉も、最終の詰めの段階になっています。この数年間の交渉での感想は、城陽市土木課の担当の方々の厚意的な対応です。そのことが両者（市と法人）にとってプラスになり、協議が進展していることを感じています。そして本事業の内容に、地域の方々の多大なご理解と、温かいご支援をいただいていることが、円滑に進められている要因になっていることを痛感しています。本当にありがとうございます。只、2016年度から本格的に建物関係の工事が動きだします。法人事業の取り組みにも直接的に影響がでます。また、通所者への影響も危惧されますが、職員の責務として、最小限にしていく努力をしていきたいと考えています。「どんな障害があっても地域であたりまえに、生きていきたい」という理念を掲げ、1991年に無認可施設（施設名「みんな仲間教室」）でスタートした当施設、「仲間（通所者）を真ん中にした、作業所づくりと実践」を軸に取り組んできた歴史と精神を、しっかりと受け継ぎ、この課題を乗り越えていきたいと思えます。そして、引き続き、地域の方々には本事業へのご支援を、賜りたいと思っております。

二つ目は、現在の福祉情勢です。日本政府は、2014年1月に国連の障害者権利条約に批准しました。この権利条約には障害のある人の願いが、沢山詰まっている素晴らしい内容です。その権利条約に沿った国内の法整備が求められていますが、国が進めている制度づくりは、その真逆の方向へと進んでいます。特筆したいことは、応益負担（支援を利用することで利用料が発生する制度）を復活させる動きがあるということです。障害者自立支援法が施行したとき、過重な利用料の負担発生から2006年12月、滋賀県で二人の障害のある子どもを抱える父子家庭の家族が、無理心中する事件が起きました。その後も、障害者自立支援法の制度の不備による痛ましい事件が、全国で発生しました。そして、全国での応益負担制度廃止の運動と、数十回に及ぶ障害者団体と行政協議との結果、利用料負担を軽減する仕組みとして、不十分ながらも現制度ができました。その教訓からも応益負担復活に対し「障害のある人たちが苦しんだ悲劇を繰り返さない、制度の不合理で犠牲者をうまない」福祉職員としての構えが必要だと感じています。課題が山積みで大変な状況ですが、この難局を地域の方々との温かい連携を築き、乗り越えていくことが重要だと考えています。

最後になりましたが、2016年が地域の皆様にとっても、良い年になりますよう祈願しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

（施設長 竹内 仁）



## みんなの このごろの様子



### \* \* ほっぷ おでかけ \* \*



10、11月のおでかけでは、SAめぐり、万博公園に行きました。

SAめぐりでは、事前にグループでミーティングをして、どのルートを回るのか、何を食べるか、雑誌等を見て、みんなで確認し合い見通しを作りました。

初めての試みなのでどうなるかと思いましたが、仲間はニコニコと良い表情をして楽しそうにしている姿がみられてよかったです。また近江牛コロックをみんなで食べたり、そのSA限定のあんぱんを食べたりしてグループでワイワイと楽しく過ごしました。

万博公園では、その前日にEXPOCITYがオープンし渋滞が予想され心配していましたが、渋滞もなくスムーズに行くことができました。途中でコンビニに寄り、お弁当を買って公園に行って、みんなで食べました。

紅葉の季節でもみじがとても綺麗で、いろいろなところを散策して楽しむことができました。

帰りの車では、疲れて寝る仲間も！！（お疲れさま）

今後もいろいろな所に行き、いろいろな経験をして仲間と職員一緒に楽しみを共有できるおでかけをしていきたいと思っています。

（文責：深見）



### \* \* amiグループの近況 \* \*



みんな元気です。と言いたいところですが、20歳になったばかりのKくんの入院があったりもして、残念ながら9人全員揃わない日が多くなってしまいました。

そんなこの間…秋の訪れに始まる季節の移ろいを感じながら、電車に乗ることをメインの近鉄沿線おでかけや、京都教育大の学園祭を楽しんできました。

仕事では、きょうされんの“冬じたく”に雑巾を出したところ、人気商品として思いがけない大量注文を頂き、うれしい(?)びっくり！

なかまががんばって縫製に取り組み、昼休みを返上でタオルたたみをしてくれたりしました。

地域のボランティアさんや職員のつながりでたくさんの方にも助けて頂いて、なんとか納品を終えることができました。無理をお願いしたにもかかわらず、やさしく受け止めて下さったあたたかいお気持ちの中でふんばれた日々。なかまたちにもそんな人の力のぬくもりが伝わったらいいな、それを感じて生きてほしいなと思う出来事でもありました。

夏は暑く、冬は寒いうおーく。肢体不自由のメンバーには特にまた厳しい季節ですが、先日はゆずをたくさん頂いて、ゆず足浴をしたりしました。

体調管理に気をつけて、次回は「皆元気です」と報告できるようにしたいと思っています。

（文責：かの）

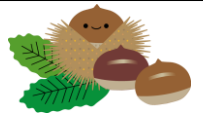
\*製品の雑巾用のタオルが在庫0になってしまいました。

ホテルや銀行の粗品でもらえるようなフェイスタオルのご提供を引き続きよろしくお願いします。

\*ポケモンとドラえもんが載っている本も求めています。合わせてご協力下さい。



\* \* フレンドチーム『秋を感じに』 \* \*



フレンドチームは、秋も深まってきた10月6日に、京田辺の里山へ「秋の味覚狩り」に出かけました。天気も良かったので、途中お弁当を買ってピクニック気分。車を郊外へ走らせると、稲の穂が頭を垂れた田園風景が広がってきました。道中、道端に山の栗「芝栗」が落ちているのを見つけて拾いました。みんな「あ！ここにもあった！」「トゲが痛い。」などワイワイ言いながら夢中で拾いました。また、ふと見上げると「アケビ」がぶら下がっていて、「これなら届きそう」と手が届くものを取りました。途中、地元の方が通りかかり、「その栗はイノシシが好きで、食べよるんや」と教えて下さいました。ひとしきり拾ったあとは、お昼ごはん。シートを広げて景色を見ながらゆっくり味わいながら食べました。ポカポカ暖かかったので、シートに寝転がって、そのままお昼寝しようかという仲間もいました。昼食後は、農家の畑で収穫体験をしました。

斜面に生えている木には柿がなっていました。赤くなっているか見ながら一つずつもぎ取りました。栗の木もあって、だいぶ落ちてしまっていたのですが、みんなで草むらを根気よく探すと、次々と見つけたり、「これ、大きい。」「このイガは空っぽ…」と30分ほどがんばりました。その後、時間がまだあったので、散歩をしました。そこでも柴栗を拾いながら歩き、紅葉も見ながら、秋を体いっぱい感じられた1日となりました。

(文責：松本)

\* \* さくらんどグループの近況 \* \*

さくらんどグループは2015年もみんなでいろいろな楽しいことをいっぱいしてきました。

11月にはきょうされんの「みんなであつまろうフェスタ」に行きました。

毎年この行事に向けた出し物の衣装を作ったりしています。

今回は今年の旅行でおなじみの「ゲゲゲの鬼太郎」をテーマに衣装を作りました。主役の鬼太郎をやるNさん、目玉おやじのNさん、かわいい猫娘のYさんに、砂かけばああの着物が似合うMさんに、みんな大絶賛のねずみ男のFさん、グレー色がとってもよく似合うぬりかべのMさん、KさんとNさんの仲良し一反もめんと小さいけどはまり役のこなきじじいのYさん。

みんなそれぞれの役になって発表しました。でも、一番盛り上がったのは衣装作りだったかも知れませんが、行事に向けてみんなで一緒に作る。やっぱり、こういうのがいいなあと感じました。

秋には、創作活動で落ち葉やどんぐりを公園まで拾いに行ってそれで教室を飾り、特にどんぐりはみんなで作って飾っています。

12月の創作活動では、みんなの写真を使ってクリスマスツリーの飾り作り。今年もたくさんのお出来事やいろんな場所に行ったんだなーとみんなで振り返りながら作りました。

さくらんどグループは、お仕事におでかけに、お楽しみごとが大好きなグループなのでこれからもたくさんみんなと一緒にいろんなことをしていきたいと思います。



(文責：平尾)

## 2015冬季物品販売へのご協力 ありがとうございます



社会福祉法人みんななかま「事業部」では、毎年 夏と冬に物品販売を行い、その収益をみんななかまの事業への支援に充てたり、独自事業（障害児者会員支援レスパイト事業）の財源としています。

なかま（通所者）による授産製品の売上、そしてきょうされん物品の仕入販売利益は、なかまのお給料や活動に充てています。

今冬季物品の売上は、みんななかま仕入物品販売が約28万円、きょうされん物品が約52万、授産製品は約4万6千円でした。

販路拡大も考えています。今後、お知り合いの方にもお声かけ頂けると嬉しいです。もしカタログ斡旋できる方がありましたら、施設までご連絡下さい。今後ともご協力お願いいたします。ありがとうございました。

社会福祉法人みんななかま 事業部担当  
谷口・家田・大槻



・ ○ ・ ○ ・ THANK YOU ・ ○ ・ ○ ・  
～様々なご支援 本当ありがとうございます～ (9/14～11/30)

### ☆ボランティアにきてくださった方々☆

横井 雄介 様 服部 俊子 様 森田 喜代司様 中尾 様  
藤本 美代子様 川島 喜美枝様 井澤 陽子 様  
浮守 拓也 様 林 茉佑 様 佃 成未 様 広井 千春 様

### ☆寄付して下さった方々☆

京都文教大学 様  
城陽団地自治会 様  
有馬 様  
東城陽中学校 様  
乙訓圏域障がい者自立支援協議会 様  
城陽作業所 様  
パルティール 様  
石井邦香 様

### ☆製品をおいてくださっているお店☆

メディアスタジオ・SANA 様  
NIPPON DINING DIVE 様  
Rencontre 様  
Cocochi Ra Baum 様

